

第 164 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【平成 27 年 2 月 10 日 (火) 開催 会場：(株)PALTEK 11 階セミナールーム】

1. レイン・バード株式会社 代表者 東 里美 氏 (<http://www.rainbird.co.jp/>)

【住所】東京都渋谷区神宮前 1-15-15 QC 神宮前 115 2 階【設立】2012 年 4 月【資本金】5,000 千円
 【事業概要】小売業界の店舗の現場で使用される販促ツール「POP 広告」。貼るだけで店舗の売り上げを左右するほど影響力のある POP 広告を、iPad で誰でも簡単に作成できる日本初のアプリ「POPKIT (ポップキット)」をリリースしました。プロがあらかじめ作ったパーツをスタンプのように配置するだけで、デザインセンスに自信がなくてもクオリティの高い POP が短時間で作成できます。また、日本全国のクリエイターが参加しパーツを提供できるシステムで、常にコンテンツが進化しつづけます。本年は、機能強化版の法人専用パッケージもリリース予定。私たちは POP の世界に新たな可能性を開き、POPKIT を通じて日本全国の店舗で「売れる店作り」が実現できる、小売業向けプラットフォームを目指します。

【コメント】「POPKIT」の最大のメリットは場所を選ばない、iPad なら持ち運びしやすい、デザイン力やセンスが不要、時間・コスト削減に繋がることです。現在は広告や宣伝を使用せず、口コミで広がっております。東社長は「売り場の販売員の方に POP 作りを楽しんでほしい、小売業界のスタンダードになって欲しい」とおっしゃっておりました。自分で作った POP を売り場に置いたことで売上に直結すれば販売員のモチベーション向上にも繋がりますね。今春には法人版の「POPKIT」を販売予定で、会社のロゴを入れられるようにしたり、クラウドで管理してデータ共有出来るようにしたりできるものにするそうです。今年中にユーザーが 10 万人を超えるのを目標にしておられました。



2. 株式会社ワコムアイティ 代表者 今岡 克己 氏 (<http://www.wacom-it.co.jp/>)

【住所】島根県松江市北陵町 43 【設立】1993 年 4 月【資本金】49,000 千円

【事業概要】タブレットメーカーである株式会社ワコム(本社埼玉県)の関連企業として平成 5 年に設立。テレビのクイズ番組で使われている回答システム、病院で使われる電子カルテシステムの手書きソフトなどの開発実績がありますが、主に行政の基幹システム開発(島根県予算編成システムなど)やメーカーの生産管理システム、食品流通会社の販売管理システム、大学病院を中心とした地域医療連携システムなどの開発を行っている SI 企業です。近年は日本発のプログラミング言語 Ruby を使ったシステム開発にも力を入れています。今回は島根大学との共同研究の成果として手書き文字を使った Lafcadio サイン認証エンジンを紹介します。

【コメント】近年、オンラインバンキングやクレジットカード情報の不正利用が問題になっております。もはや ID とパスワードの認証だけでは危険にさらされる時代となりました。そこで ID やパスワードに代わるものが必要になるので、指紋認証や静脈認証、生体認証が普及しました。当社では手書き電子サインの普及に取り組み、その経験から Lafcadio サイン認証エンジンを新しく開発しました。このエンジンではサイン形状を数値化することにより、形状を認証することが出来るのです。サイン空間上のサインと比較し、最も近いサインとの距離を測定します。現在、スマホが普及されているのでインフラとして活用し、普及を図っていききたいそうです。2020 年までには全ての端末に入ることを目標にしておられました。



3. 株式会社丸和製作所 代表者 柴田 豊 氏 (<http://www.maruwa-ss.co.jp/>)

【住所】宮城県大崎市三本木音無字岩井 8-1 【設立】2010 年 11 月【資本金】425,050 千円

【事業概要】フレキシブルプリント基板の製造業になります。2010 年より Unimicron をスポンサーとして新会社でスタートしました。製品用途は、自動車向け、スマホ向け、パソコン向け、医療機器向け等幅広い対応を行っております。本社は営業・開発・少量量産を行い、量産の数量が拡大した場合、マレーシア、インドネシアの直営工場及び Unimicron 関連の FPC 工場で生産を行っています。この度、PEN 樹脂をベースにした、透明 FPC を開発しました。フレキシブルで、透明度が高く、PET 比較で耐熱性もあり、実装方法を工夫した事で通常のリフロー対応が可能です。装飾用途・デジタルサイネージ等様々な製品への展開を検討中で、用途開発を展開しています。

【コメント】冒頭に柴田社長が「当社は時代の最先端製品が世の中に出ていく事を FPC の面からサポートしていくことが出来る、世界で最初のチャレンジをし続ける会社です。そしてありふれた古い設備を使い、高い技術力を持って、お客様の製品向上に繋げていくことが出来ます。3 年後には日本市場で IPO するのが目標です」とおっしゃっておられたのが印象的でした。最近では医療関係にも FPC の供給を始められたそうです。新しく開発した透明 FPC は従来のポリイミドと比較すると価格は高くなるようですが将来的にはポリイミドの代替品になるのではないかと期待されております。今回、当社と一緒にこの透明 FPC を新しいアプリケーションとして提案し、ビジネスを作っていききたい企業を探しておられるそうなので、具体的なアイデアをお持ちの方がいらっしゃいましたら、お問い合わせしてみたいと思います。



発表会風景

《感想》

今回も会場が満席になるほどたくさんの方々にご出席頂きました。今回、ご発表頂いた企業様は私達の生活の身近にあるものばかりだったように感じました。次々に新しい考え方や製品が出て来て、これからどんな風に成長していくのが楽しみになりました。今後、ビジネスプラン発表会で発表されたい企業様がございましたら、是非、事務局までお問い合わせ下さいませ。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

第 165 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日時：平成 27 年 3 月 10 日 (火)
 13:30~16:00 (発表後、交流会)
 ■会場：学校法人岩崎学園 新横浜 1 号館 8 階
 (http://www.iwasaki.ac.jp/access_shinyoko.html)
 横浜市港北区新横浜 2-4-10

第 166 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日時：平成 27 年 4 月 14 日 (火)
 13:30~16:00 (発表後、交流会)
 ■会場：調整中